

2025年度 家族の会「わかば」定期総会

■2024年度活動報告

※代表交代がありチーム制を導入して新規役員6名を増員、19名で運営しました。
連絡手段としてわかば専用携帯を準備し、事務局のメールアドレスを登録しました。

1. 定期総会

2024年5月11日(土)13:00～14:00 東京ボランティア・市民活動センター
通常は4月に総会を開催していましたが、2019年以来5年ぶりで、東京ボランティアセンターの会議室を1月に予約できたため5月に開催し、出欠席はハガキとQRコードで行いました。

- ・ 2023年度 活動報告、決算報告…………… 全て承認
- ・ 2024年度 活動方針案、役員案、予算案……… 全て承認
- ・ 出席者:30名

2. 学習会等

(1) 2024年 9月 14日(土) 全共連ビルカンファレンスホール・Zoom開催

「家族が遅延性意識障がい者になるという体験—その心の動きとケアについて」

岸 浩美氏(社会福祉士・精神保健福祉士・保育士・認定心理士)

会場参加:43名

Zoom参加:51名

日本損害保険協会による助成事業で開催しました。

会場は農協共済連のご厚意でお借りしました。

(2) 2024年11月 1日(金) 目黒区田道住区会議室 三田分室

「わかばミニ学習会 理学療法士牧先生による相談会」

牧 信介氏(理学療法士 with Hand代表)

参加者:9名

地域交流チームが企画運営しました。

(3) 2025年 1月 19日(日) 池袋レンタルスペース「池袋FRIENDS XV」

「わかばミニ学習会 アロママッサージ体験会」

里中 位江氏(ICAA認定メディカルアロマセラピスト)

畔津 亜希子氏(IFPA認定アロマセラピスト)

参加者:13名

参加費:1000円

地域交流チームとボランティアで企画運営しました。

(4) 2025年 1月 25日(土) Zoom開催

「栄養摂取について考えよう～栄養剤や流動食、どう見る？どう選ぶ？～」

砂田 峻氏(森永乳業クリニコ株式会社クリニカルマーケティング部)

Zoom参加:34名

わかば冬の学習会として役員とボランティアで企画運営しました。

3. 会報「わかば便り」の発行

計3回

会報チーム

- ・ 第68号 2024年 5月31日発行 防災に向けて臨時発行
- ・ 第69号 2024年11月 1日発行 意思伝達装置特集
- ・ 第70号 2025年 3月 3日発行 グループホーム特集

69号ではマインヘルスケアの青木様に業務委託し講演会原稿を依頼しました。

70号では会員さんにもお声がけて「歩む会」の訪問見学取材を行いました。

4. ホームページ管理 (<https://wakaba-senensei.com/>)

HPチーム

- ・ 1日当たり閲覧人数:20～30人／日

わかばのホームページは開設されて14年となり、10月5日にリニューアルをしました。
新規入会者が問い合わせしやすいように入会申込のデジタル化を図りました。
会員の相談サイトも相談しやすくなることを目指しデジタル化を図りました。
わかばのパンフレットを活用しやすくするためにトップページへ移行しました。
会員のサイトで「役員会からのお知らせ」が閲覧できるようになりました。
トップ画面のバックデザインを「ひいらぎ」に変更しました。
見やすさと利用のしやすさの視点からページ組み替えを行いました。
会員のサイトは、交流の場、情報を蓄積できる仕組みづくりを準備中です。

5. 役員会の開催

計7回

※全て「Zoom」を利用して夜に実施しました。

【2024年】 6月26日、7月21日（臨時）、9月4日、11月13日

【2025年】 1月16日（臨時）、2月14日、3月21日

6. 「役員会からのお知らせ」の作成・郵送

… 計4回

【2024年】 5月、10月、12月

【2025年】 1月

7. 会員交流会

2024年5月11日（土）14:15～16:40 東京ボランティア・市民活動センター

「話し合いの場」参加者:50名 テーマ別にグループ分けをして交流をしました。

日時	イベント名	参加者	会場	参加費
6月12日	夜の交流会	15名	Zoom開催	-
8月10日	リアルランチ会	20名	飯田橋セントラルプラザ「北海道」	1000～1800円
10月9日	夜の交流会	17名	Zoom開催	-
12月14日	リアルランチ会	22名	アイビーホール青学会館	1000円
2月12日	夜の交流会	17名	Zoom開催	-
4月9日	夜の交流会	16名	Zoom開催	-

地域交流チーム

LINEやメーリングリストを活用して交流の場を作る活動をしました。

【LINEグループ】

「家族会わかば」登録者:17名

3月のリアルランチ会参加者から派生した集まり

「わかば病院相談」登録者:6名 2024年9月以降投稿なし

「施設とリハビリの情報交換」登録者:31名

「わかば2024/08/10」登録者:21名 ランチ会で出会った人が登録

「親の集まり」登録者:4名

「在宅とケアの情報交換」登録者:42名

【交流イベント】

10月4日（金）国際福祉機器展での会場交流 参加者:11名

10月26日（土）産総研一般公開で

ニューロコミュニケーターの体験と見学 参加者:6名

役員会の承認を得て、有志によるイベントが開催されました。

2月23日（日）有志新年会 ウィルシャー・プレイス四谷 参加者:18名

IT環境記録チーム

定期役員会は全てZoomにより行い、Zoomアカウントを登録・管理・活用しました。
 9月の損保総会では、わかばとしては初めてハイブリッド開催が実現し、
 東海の家族会ひまわりの外山様に設営配信でご協力いただきました。
 会員さんへのZoomサポートは随時受け受けており、2024年度は1名の会員さんを
 接続サポートしました。

8. 会員相談支援

- (1) 会員相談は常時対応し全ての案件に対して、会でできることを行いました。
- (2) 意識障害を考える会のネットによる医療相談に3件の依頼がありました。
 全件加藤庸子先生に依頼し、その日のうちに対応していただきました。
- (3) メーリングリストとLINEによる活用で会員相互の相談や情報交換を行いました。
- (4) 回復期リハビリ情報協会のリンク先やエクセルでまとめた情報を共有しました。
- (5) 会員の要望に沿って目的別のグループLINEの立ち上げを行いました。
- (6) 会員から有志の企画について役員会で承認後、事務局にて紹介を2件行いました。
- (7) リアル交流会にて、会員同士の顔を見ながら質疑応答や情報交換ができました。
- (8) Zoomの使用が難しい会員に対し、Zoom立ち上げ等のサポートを適宜行いました。

9. その他特記事項

- ・ 会員登録状況

	2024年3月末	2025年3月末
家族会員	180家族	186家族
賛助会員	56名	60名
特別会員	119名	117名
ML登録	131名	160名

特別会員：わかば 役員会の推薦により本会の活動を支援してくださっている
 個人/団体の方で、年会費を免除している会員種別

- ・ 全国遷延性意識障害者・家族の会の賛同団体の関東地区としてわかばは登録されており
 全国会役員として役員会（Zoom開催）に荻田、麦倉、横山が適宜参加（隔月）しました。
- ・ 9月の講演会開催にあたって、後援を12箇所申請しました。
- ・ アステラス製薬の患者会支援でピア・サポート研修を荻田・藤岡が受講しました。
 リーダーシップトレーニングプログラムを荻田が受講しました。
 2つのセミナー受講終了に伴い次年度患者会助成金への応募資格獲得しました。
- ・ 医療介護施設の面会時間改善の必要性検討について、面会制限緩和の動向を
 東北大学大学院の田代志門教授と同大学医学部の内田翔教授2名の
 有識者とコンタクトをとっています。

- ・ 情報共有の場として、グループチャットの検討を実施(Slack Microsoft Teams)しました。
- ・ 郵送のお知らせをイベントの開催3か月前に届けるように努めました、
入稿が間に合わず、遅れる場合があり、今後対策を講じていく必要がありました。
- ・ ホームページの保守点検会社が次年度をもって契約を解除する方針であるため、
次年度に向けて準備を開始しました。
- ・ 6月2日 全国遷延性意識障害者・家族の会総会&学習会に荻田、藤岡、横山、小川が参加
- ・ 6月3日 全国遷延性意識障害者・家族の会として厚労省訪問に横山他会員2名が参加
- ・ 6月30日 交通事故後遺障害者家族の会総会に荻田、横山が参加
- ・ 11月16日 全国遷延性意識障害者・家族の会20周年記念講演会に横山、小川が参加

【研究協力依頼など対応】

- 1 石川優子さんより研究協力依頼
「遷延性意識障がいのあるかたを支える家族の心理と求める支援について」
- 2 戸國真佐子さんより研究協力依頼
「成人期における遷延性意識障害者・重症心身障害児(者)の系統的・地域連携支援対策の構築」
- 3 加藤教子さんより研究協力依頼
「遷延性意識障害への音楽療法のアプローチの実態と今後の可能性について～文献研究～」
- 4 長谷川良平先生よりお手伝いの依頼
ニューロコミュニケーターの研究開発のお手伝いについて相談あり進行中